

平成18年度 佐賀県 ベンチャー交流ネットワーク第2回例会を開催!

7月27日、佐賀大学(佐賀市本庄町)で、ベンチャー交流ネットワーク第2回例会を開催しました。

今回は、佐賀大学科学技術共同開発センター主催の科学技術シンポジウムとの共催で、当会の会員・公的機関参加者に加え、佐賀大学教員・学生、一般参加者など100人を超える参加がありました。

ビジネスシーズ発表会議では、6つのテーブル・会場に分かれ、内田科学技術共同開発センター長、会員の(株)クリエイト、(有)みのり農場、一般企業3社の研究・事業報告が行なわれ、発表者の説明に熱心に耳を傾けた後は、活発な意見交換が行われていました。

【 全体会議 】



佐賀大学学長 長谷川照氏の開会あいさつ後、内田科学技術共同開発センター長が「農業資源と次世代エネルギー」をテーマに農業を主軸においたMOT教育について基調講演が行われました。食糧問題、エネルギー問題などの危機回避策としての農業の重要性を強調し、大学と地域が連携した人材育成の必要性について 詳しい解説がなされました。

ショートプレゼンテーションでは、「価格変動を味方にした販売戦略からの農業経営」をテーマにした(株)石動(イシナリ)農産の秋吉社長など6つのビジネスシーズが発表されました。各人、パワーポイントを活用するなど持ち時間5分間を有効利用し、興味深い発表が行われました。

【 ビジネスシーズ発表会議 】

全体会議のショートプレゼンテーションを踏まえ、参加者はそれぞれ興味があるビジネスシーズ発表者のテーブル・会場に移動し、発表者を囲んで自由な雰囲気の中活発な意見交換がなされました。

上記内田センター長、(株)石動農産以外の発表者・テーマ

(有)オーク 代表取締役 榎崎須眞子

「水耕栽培を中心とした施設野菜生産からの農業経営」

(株)クリエイト 代表取締役 豊増康生

「“パワーの泉”および“地球のエネルギー”を用いた高効率無農薬栽培の提案」

(有)みのり農場 代表取締役 麻生茂幸

「養鶏を中心とした環境保全型農業への挑戦」

(有)ヨコオ牧場 代表取締役 横尾文三

「背振の自然を生かした酪農経営・乳製品製造」



【 交流会 】



例会終了後、当ネットワーク会長の中村敏郎氏(中村電気製作所会長)のあいさつで交流会が始まりました。

ビジネスシーズ発表会議の内容について引き続き意見交換をしているグループ、親交を深めるグループなど和やかな雰囲気の中で行われました。